

## 「京都エコ・エネルギー戦略（中間案）」に係る第5回推進会議意見とその対応案

区分	御意見等	対応案
全体	<p>◆全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分散型電源を進めるのはいいが、いいところだけ見せている。</li> <li>・国際競争が激しい中、日本の競争力は低下している。経済成長にとってエネルギーは重要ということを考えてほしい。</li> </ul>	<p>○趣旨は原案で記載（p 2、27）</p> <p>○趣旨は原案で記載（p 17）</p>
	<p>◆電力以外のエネルギーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力に力点が置かれているが、燃料についての記載がない。</li> </ul>	<p>○熱については原案で一部記載。（p 11、28）</p>
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民の多くが…原子力発電に頼らない社会づくりを望んでいることが明らかになり…」は最近の世論調査ではそうともいえない結果もある。世論は移ろいやすく、はっきり「明らかになり」とは言い切らない方がいいのでは。</li> <li>・政権交代後の情勢変化には触れた方がよいのでは。</li> </ul>	<p>◎意見を反映して修正（p 1）</p> <p>◎意見を反映して修正（p 1）</p>
現状と課題	<p>◆メタンハイドレート等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタンハイドレートは、まだまだ研究段階。</li> <li>・メタンハイドレートについては温暖化対策としては評価し切れていない。期待しすぎではないか。</li> <li>・CCS、メタンハイドレートについては技術の確立やコストやリスクの評価がまだの段階。</li> </ul>	<p>○趣旨は原案で記載（p 17）</p> <p>趣旨は了解。</p> <p>○趣旨は原案で記載（p 17）</p>

区分	御意見等	対応案
基本方針	<p>◆自給京都について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明はあったが、「自給京都」は閉じた需給という印象が強い。電力需給は広域運用が適切であり、狭くすればそれだけコストに跳ね返る。</li> <li>・「エネルギー自給・京都」をキャッチフレーズとしたいのはわかるが、先に全体について述べた理由により了承できない。それなら、福井県は県内の原発で自給ということになる。</li> <li>・説明はあったが、一見すると府内で閉じているかのような見せ方になる。府内でまかなえるから原発に依存しなくてもいいと言いたいのか。違和感を感じる。</li> <li>・「京都府」にこだわりすぎではないか。事業者は府域を超えて活動している</li> <li>・自立とか自給とかいうが、京都だけでやる必要はない。一緒にやればいいこと。(そもそも化石燃料を使えば、自給とはいえない。)</li> <li>・府民へのメッセージ的なものが必要なのは理解するが、「自給・京都」は委員の皆さんからもどうかという意見が多い。変えられないのか。</li> <li>・出身地の大分県では「大分県の再エネ率 27 %、全国トップ」という打ち出しをしている。これは九州電力の地熱発電のお陰であるが、こういう表現もある。</li> </ul> <p>・府の戦略なので、府としてできることを書くべき。</p> <p>・府に何ができるか。京都の特長を活かした方針が必要。</p>	<p>東日本大震災とそれに伴う原子力発電所の事故を経て、需用者の側からエネルギーを選ぶ時代が訪れようとしており、どのようなエネルギーを選ぶかは、どのような社会、未来を選択するかに関わる問題。</p> <p>基幹的な電力エネルギーは広域的な系統により接続され、電力需給においては、広域的な観点から、供給安定性、環境性、経済性を踏まえた検討が必要であることを踏まえた上で、本戦略においては、府民に対して需要者としての自覚を促し、府として省エネルギー推進や再生可能エネルギー導入の取組などを進めていくために、府域に立地する系統及び分散型電源によって、府域における電力需要を賄うことができる状態を「エネルギー自給・京都」と位置づけたい。</p> <p>*当初予算の打ち出しとして「自給・京都」は既に公表済み</p> <p>○趣旨は了解。府が直接実施するものだけでなく、要望や働きかけ等も含めて府ができることを記載</p> <p>◎戦略 4、5 に反映 (p 21)</p>

区分	御意見等	対応案
戦略・施策 一般	<p>◆一般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源の多様化、リスク分散など、いろいろ考えた上で目標値を立てるべき。</li> <li>戦略は府としての覚悟を示すものとする。その意味で、今までと違う打ち出し（原発に依存しない社会めざす）だと思うが、施策については抜本的なところに踏み込めていない。デカップリングを進めることが必要。</li> <li>国の政策が定まっていないうちで、逆に、国に左右されない府の方針を見せていくことは意味がある。</li> <li>エコ・エネルギーのエコは、エコノミーだったのかという感想。</li> </ul> <p>◆府域での展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けいはんなの実証実験など、対策について都市部のものが目に付く。府域では北部の農村などにバイオマスなどの地域資源があり、また地域産業ほか関わりもある。</li> <li>京都の強みやポテンシャルを活かした戦略を記載してほしい。</li> <li>京都のポテンシャルや強みを検証すること。</li> </ul>	<p>○趣旨は原案で対応</p> <p>○府としてできる施策で対応。 デカップリング推進は国レベル、将来的な課題と認識</p> <p>○再生可能エネルギー推進、CO<sub>2</sub>配慮など「エコ」について原案で対応</p> <p>◎中北部の取組なども参照しながら趣旨を反映（p 27、28）</p> <p>◎戦略4、5に反映（p 21）。バイオマス利用、大学や地場産業との連携などの施策を記載（p 27、28、30）</p>
戦略1 (省エネ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力使用量は経済成長と強い相関関係にある。電力が安定して供給されることが産業にとって重要。削減するということは経済成長を落とすということになる。そういう負の部分も明らかにしなければならない。</li> <li>省エネに関して、kWhでなくkWのピークをどうするか、平準化についてさらに工夫して記載してほしい。</li> </ul>	<p>◎目標達成が経済活動を抑制するものでないことを注記（p 20）</p> <p>◎意見を反映して修正（p 24、31ほか）</p>

区 分	御 意 見 等	対 応 案
施策の方向 (1) 省エネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネガワットに関して「効率的に」「有効である」などの記述が意味不明瞭。</li> <li>・ネガワットやデマンドレスポンスなど府民の理解が十分できているとはいえない。パブコメもされるのであれば、府民への理解が図られるような記載をされたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎意見を反映して修正（p 25）</li> <li>◎意見を反映して修正（p 25、31ほか）</li> </ul>
施策の方向 (2) 再エネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バイオマスについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスは新たに創るのではなく、前からあったものの再発見。賦存量のデータベースづくりなどが必要。</li> </ul> </li> <li>◆固定価格買取制度について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定価格買取制度について、大事なことは継続性。急に増えたり減ったりすることは産業界にとってマイナス。単に高ければよいというものではないことに注意。</li> </ul> </li> <li>◆再生可能エネルギーについて               <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーもいいが、風力は送電線に課題があるとか、太陽光発電はメンテが大変とかいうことも聞こえてくる。いいことばかり書くのではなく、実態調査などすべきではないか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「京都府バイオマス活用推進計画」に基づく施策を推進</li> <li>○趣旨は原案で対応（p 27）</li> <li>○趣旨は了解</li> </ul>
施策の方向 (3) 安定供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆LNG、石炭火力発電について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西はもともとLNG比率が高い。そのためコストアップになっている。火力としては石炭も大事。それも記載してほしい。</li> <li>・IGCCについて唐突に出てきたという印象。</li> <li>・バイオマス混焼について電力会社に要請とあるが、一般的に、「発電事業者に」とされたい。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石炭の重要性は理解できるが、環境面での評価は避けられない。</li> <li>◎意見を反映して修正（p 29）</li> <li>◎意見を反映して修正（p 29）</li> </ul>

区分	御意見等	対応案
施策の方向 (3) 安定供給 (つづき)	◆メタンハイドレート等について（再掲） ・メタンハイドレートは、まだまだ研究段階。 ・メタンハイドレートについては温暖化対策としては評価し切れていない。期待しすぎではないか。 ・CCS、メタンハイドレートについては技術の確立やコストやリスクの評価がまだの段階。	○趣旨は原案で反映 趣旨は了解  ○趣旨は原案で記載（p 17）
施策の方向 (5) 産業育成	・大分県知事は、この県の再エネ率をさらに上げるため、小型地熱や小型水力などの普及拡大に向けて地場産業支援も行っている。 ・再生可能エネルギー活用を地場産業、地域振興に活かす方策について記載できないか。	◎意見を反映して修正（p 27）
戦略の推進	◆戦略の推進に向けて ・2段落目の「地域の中で再生可能エネルギーの導入やバックアップ電源の整備確保を図ることにより…」に関して、これらの取組はコストを上げることになるし、いきすぎると安定供給にも支障が生じるというマイナス面があることに注意が必要。	趣旨は了解
今後の取組について	◆戦略の広報について ・いかに広報していくかが重要。 ・学校（子ども）へのアピールも必要。 ・南丹市は現在でもエネルギー自給率73%。身近なポテンシャルを活かして再生可能エネルギーを増やせば100%も可能。それを地域の人に訴えて「地域の宝探し」をやっている。府も市町村に出向いてアピールし、一緒に考えることが大事。	◎「4 目標達成のための行動指針」を置き、 広報や啓発活動について記載（p 32） ◎地域の取組事例として記載（p 27）

区分	御意見等	対応案
<p>今後の取組について (つづき)</p>	<p>◆府民は何をすればよいか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略の推進のために、府民は何をすればいいのか。省エネの推進は使用者を抑え込むこと。使うことを抑えるのではなく、府民生活のインフラ整備、たとえば木を植えることで気温を下げてムリなく省エネできるようにする方法を考えるべき。韓国のテグ市はヒートアイランド対策として街路樹倍増計画を実施し、結果として省エネになった。</li> <li>・この記述だけでは、府民は何をしたらよいかわからない。数値目標だけでは、府民はどこをどうがんばればいいのかわからない。</li> <li>・府民が何をすればいいのか、示すべき。</li> </ul>	<p>◎「4 目標達成のための行動指針」を置き、府民の役割、事業者の役割、府の役割等を記載 (p 31、32)</p>
	<p>◆今後の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略を具体化していくことが大事。</li> <li>・アクションプランが必要ではないか。また、スピード感も必要。FITの3年間で大事。目標を立ててやらないと何もできないままになる。</li> <li>・方針だけではなく、アクションプランのようなものも必要ではないか。</li> <li>・アクションプラン、達成のための手段=工程表が必要ではないか。</li> </ul>	<p>既存アクションプランの改定、予算編成の中で検討。25年度当初予算でも戦略推進のための予算を計上</p>
<p>その他</p>	<p>◆シェールガスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可採埋蔵量が重要であり、そこをしっかりと定義しないとイケない。アメリカはどんどん進めているが、地下水汚染、飲料水汚染、誘発地震などの負の部分も見必要がある。戦略が2030年目標であれば、「今後を見守る」という表現でいいのではないか。</li> </ul>	<p>趣旨は了解 (シェールガスについては、戦略や施策の中には特に記載しない。)</p>

区分	御 意 見 等	対 応 案
<p>その他 (つづき)</p>	<p>◆原発について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発は高効率の発電施設であるが、廃棄物をどうするかという大きな問題がある。廃棄物に責任を持つための研究開発が必要、ということにも触れる必要がある。</li> <li>・エネルギーの安定供給が大事。安価であること、CO<sub>2</sub>なども考えてバランスを取っていくことが必要であり、原発ゼロは不自然ではないか。</li> <li>・今でも大飯原発のみが稼働しており、それもいつ止まるかわからない状況。現実的には原発ゼロになっているのでは。問題は今ある原発をどうするのか、府の考え方を示すべきではないか。</li> </ul>	<p>趣旨は了解。</p> <p>原発に関して積極的な記載はしない。国の方針決定を待つて検討</p> <p>趣旨は了解。</p>
	<p>◆温暖化対策との関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府の温暖化対策計画では、2030年にCO<sub>2</sub>▲40%を目標としているが、それとの関係性が表現されていない。</li> </ul>	<p>◎課題において、府温暖化対策推進計画との連携を記載（p 18）</p>
	<p>◆関西広域連合との関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進に当たって、関西広域連合との関係はどうか。</li> </ul>	<p>◎府の役割・行動の中で、広域連合との連携を記載（p 32）</p>
	<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力の安定利用のインフラがどうなっているのか。震災など非常時への対応。阪神大震災の時には、自家発電があっても、耐震性に問題があって使えなかったり、受電設備がだめになって発電できなかったりした。耐震性向上について方針に入れたらどうか。</li> </ul>	<p>趣旨は了解。</p>